

2016 年度 秋学期・第 4 クォーター 授業アンケートについて

【目的】

本学における、学生による授業評価アンケートは、組織的な F D 活動の一環として実施している。このアンケートは PDCA サイクルの Check 部分にあたり、授業毎の具体的な効果や問題点を把握し、教育改善に役立てていただくことを目的とする。

【実施期間】

- ・ 秋学期 : 平成 29 年 1 月 7 日 (土) ~ 1 月 30 日 (月)
- ・ 第 4 クォーター : 平成 29 年 1 月 10 日 (火) ~ 1 月 30 日 (月)

【対象科目】

学部 1125 講座

【実施方法】

準備 : アンケート用紙印刷、授業毎の封入作業を大学が委託する事業者が行う。

配布・回収 : 専任教員には事前に各学科に配付。非常勤教員には、6・7 限科目は事前に各学科・担当部署に配付、それ以外の科目は 7 号館 1 階 教員控室にて配付。アンケート実施後、7 号館 1 階教員控室に提出する。

集計・分析 : 実施済みアンケート用紙を事業者が回収し、集計する。集計結果は教員配付用資料として、常勤教員に対しては学内にて配付、非常勤教員に対しては事業者より各教員へ郵送する。

【内容】

各質問項目に対し、5 段階 (5 件法) で評価する。但し、Q6 はあてはまらない授業もあるため、6 段階とする。なお、自由記述についてはこの限りでない。アンケート用紙は、P. 86 を参照。

質問項目とその質問の意図は以下の通りである。

| | |
|-----------|---|
| 教員目標明示 | Q1. 教員は、この授業の到達目標をはっきりと示した |
| 教員努力 | Q2. 教員は、学生がその目標を達成できるよう、意欲的に取り組んだ |
| 教員シラバス対応 | Q3. 教員は、シラバスに記載された内容を適切に扱った |
| 教員指示 | Q4. 教員は、この授業の事前学習・事後学習をするよう具体的に指示した |
| コミュニケーション | Q5. 教員は、学生からの質問や相談に十分に応じる姿勢を示していた |
| 教材 | Q6. 教材や教具は適切であり、授業理解を深める上で効果的であった |
| 学生意欲 | Q7. 私は、この授業の目標を達成すべく、真剣に授業に臨んだ |
| 学生努力 | Q8. 私は、わからないことを質問したり調べたりして、その解消に努めた |
| 目標達成 | Q9. 私は、この授業の到達目標を達成できた (できる) |
| 有用性 | Q10. 私がこの授業で得たものは、今後の学習活動や人生に活きる |
| 学生興味 | Q11. 私は、この授業を受けてこの科目や関連分野が好きになった |
| 満足度 | Q12. 全体として、この授業を受けてよかった |
| 出席率 | Q13. あなたのこの授業の出席率はどれくらいでしたか |
| 平均学習時間 | Q14. この授業のための事前学習・事後学習に何時間取り組みましたか 授業 1 回当たりの平均学習時間を選択してください |

なお、各質問は、Q1～Q6 については「教員努力」、Q7～Q9 については「学生努力」、Q10～Q12 については「満足度」を量る項目として位置づけ全部で 3 つの柱により構成している。

【平均点の計算】

平均点は無回答を除外し、

| | |
|--------------------------|-----|
| 「5 と思う」 | 5 点 |
| 「4 どちらかと言えばと思う」 | 4 点 |
| 「3 どちらともいえない」 | 3 点 |
| 「2 どちらかと言えばそう思わない」 | 2 点 |
| 「1 そう思わない」 | 1 点 |

として計算する。

「Q6 教材や教具は適切であり、授業理解を深める上で効果的であった」の平均点は、「0 この質問はあてはまらないと思う」と答えた回答を除外して計算する。